

6. 自主防災組織リーダー研修会（香川県・徳島県）

平成17年度自主防災組織リーダー研修会概要（香川県）

香川県では、（財）日本防火協会との共催により、10月14日（金）・15日（土）の2日間にわたり、香川県消防学校において、自主防災組織リーダー研修会を開催しました。この研修会は、自主防災組織の指導者に、防災活動に必要な知識や技術を習得してもらい、地域防災力の要である自主防災組織活動の活性化につながるよう、県内11市町から自主防災組織のリーダー等73名が参加して行われました。

研修のカリキュラムは、1日目に「実技研修」、「防災講演」「阪神・淡路大震災の体験談」、「体験発表・グループ協議」を行いました。

実技研修では、高松市消防局職員の指導を受けながら応急担架づくりや心肺蘇生の方法などに取り組みました。防災講演では、高松地方気象台職員から防災気象情報の利用について、香川県危機管理課職員から香川県の防災対策についての説明を受けました。阪神・淡路大震災の体験談では、人と防災未来センター語り部の谷川三郎氏から「阪神・淡路大震災の体験談 その体験を語る」と題して、震災直後の生々しい様子や行政の初動対応の実務内容などを語っていただきました。その中で、大災害時にすばやく対応できる自主防災組織の役割の重要性を学びました。夕食後、高松市古高松地区自主防災連合会の加藤直之会長から昨年の台風災害の教訓を生かし、自主防災会ごとの避難所の確保、避難・防災マップの作成、地区住民参加の実践避難訓練の実施などの活動事例を紹介していただき、その後、自主防災組織活動の活性化に向けて、自由討議を行いました。

2日目の防災講演では、香川大学工学部の長谷川修一教授から、「昨年の台風災害の概要と防災上の課題」、「南海地震に備える」と題して、高潮の発生メカニズムや自分の住んでいる土地を知るなどの風水害対策、過去の南海地震の被害状況や競争社会から助け合い社会への転換が被害軽減につながるなどの御講演をいただきました。また、「図上訓練」では、参加者を8つのグループに分け、NPO法人日本災害救援ボランティアネットワークの田中稔明理事長の指導により、地図に様々な情報を書き込み、ある被害想定に基づき地域の問題点、課題、日頃から準備しておくことなどを検討しました。この2日間の研修会で習得した知識や技能は、必ず地域防災力の強化につながるものと確信しています。



平成17年度自主防災組織リーダー研修会日程

10月14日（金）		10月15日（土）	
9:30～10:00	参加者受付	7:00～7:30	起床、体操
10:00～10:20	開講式 オリエンテーション	7:30～8:00	朝食
10:30～11:50		9:00～9:50	昨年の台風災害の概要と防災上の課題

	実技研修 (消火訓練等 高松市消防局) 国旗掲揚台南側
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~14:30	実技研修 (救急実技 高松市消防局) 2階救急専用教室 防災センター体験 防災センター
14:40~15:20	防災気象情報の利用について (高松地方気象台防災業務課 山内 俊明係長)
15:30~17:00	震災の体験談 (人と防災未来センター語り部 谷川 三郎氏)
17:10~17:40	香川県の防災対策について (香川県危機管理課 宮脇 隆課長)
18:00~18:30	夕食
18:50~19:50	体験発表・グループ討議
20:00~22:00	入浴
22:30	消灯・就寝

	(香川大学工学部 長谷川 修一教授)
10:00~10:50	南海地震に備える (香川大学工学部 長谷川 修一教授)
11:00~11:50	図上訓練 NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク 田中 稔昭理事長)
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~13:50	図上訓練 (NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク 田中 稔昭理事長)
14:00~15:30	図上訓練 (NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク 田中 稔昭理事長)
15:40~16:00	閉講式(修了証の授与)

▲このページの上に戻る

平成17年度徳島県自主防災組織リーダー研修会

「平成17年度徳島県自主防災組織リーダー研修会」を、10月15日(土)、16日(日)の2日間(1泊2日)、徳島県板野郡北島町の県立防災センターで開催しました。

この研修会は、財団法人日本防火協会と徳島県の共催により、県内の自主防災組織のリーダーなどを対象に、「地域における自主防災組織の活性化や組織づくりを学ぼう」と開催しました。

はじめに、財団法人日本防火協会小林常務理事が開会のあいさつ、続いて、徳島県危機管理局前橋参事があいさつを行い、2日間の研修が始まりました。

1日目の研修では、まず、県立防災センターの施設で災害疑似体験をしました。体験を通じ、災害について正しい知識を身につけ、災害発生時の行動、日ごろからの備えについて学びました。受講者からは、地震、火災、煙、風等の災害を体験し、「災害の恐ろしさを体感できた」「理屈より体験!」「備えなあかんあ」などの声が聞かれました。

続いて、徳島大学工学部澤田勉教授から、今後30年のうちに50%の確率で発生することが予測される「南海地震の発生



メカニズムと地震対策について」講義をいただきました。南海地震の特徴、徳島県での被害想定を踏まえた地震対策について、理解を深めました。

引き続き行われたグループ討議（進行：徳島大学環境防災研究センター岡部健士センター長）では、○自主防災組織の結成、組織づくりについて○自主防災組織活動の活性化についてなど各グループが選択したテーマごとに活発な意見交換が行われました。様々な意見があることや同じ悩みを抱えていることなどがわかり、有意義な時間でした。

2日目は、徳島地方気象台波片正次予報官から、「気象情報とその活用」について、講義をいただき、自主防災組織のリーダーとして気象情報をどう活かすかなどを学びました。

続いて、ハローボランティア・ネットワークみえの山本康史代表から、DIG（災害図上訓練）について学びました。グループごとに熱心に地図づくりが進められ、「はやく地域に帰って実践してみたい」「自分の地域で地域の人と行いたい」など受講生のやる気が引き出されました。

また、県内各地から集った受講者は、1泊2日の研修により、研修時間のほか、食堂で、宿泊棟などで活発な交流が図られました。

2日間の研修で学んだことが地域で活かされることと思います。



平成17年度徳島県自主防災組織リーダー研修会日程

日時：平成17年10月15日（土）～16日（日）

場所：徳島県立防災センター（徳島県消防学校）

【1日目】

時間		内容等	講師等	場所
9:00～9:30	30分	参加者受付		
9:30～9:55	25分	開講式 オリエンテーション		視聴覚室
9:55～10:00	5分	休憩		
10:00～10:25	25分	講義 「徳島県の防災対策について」	徳島県危機管理局南海地震対策課長 宮原英夫	視聴覚室
10:25～10:30	5分	休憩		
10:30～12:00	90分	災害疑似体験 （防災ガイダンス／地震／消火／煙／風）		各体験室
12:00～13:00	60分	昼食・休憩		消防学校 食堂
13:00～14:20	80分	講義 「南海地震の発生メカニズムと地震対策」	徳島大学工学部教授 澤田 勉氏	視聴覚室

14:20～14:30	10分	休憩		
14:30～17:30	180分	グループ討議 ○自主防災組織の組織づくりは？ ○自主防災組織の日ごろからの活動を活性化させるには？ ○地域の防災意識を向上させるには？	徳島大学環境防災研究センター 長 岡部健士氏	視聴覚室
17:30～18:00	30分	休憩等		
18:00～19:00	60分	夕食		消防学校 食堂
19:00～22:00	180分	入浴／グループ学習 *入浴は、21時まで		消防学校 浴室等
22:00		消灯		消防学校 各室

【2日目】

時間		内容等	講師等	場所
7:00		起床		
7:30～ 8:30	60分	朝食		消防学校 食堂
8:30～ 9:00	30分	休憩		
9:00～ 9:50	50分	講義 「気象情報とその活用」	徳島地方気象台予報官 波片正次氏	視聴覚室
9:50～10:00	10分	休憩		
10:00～12:00	120分	D I G（災害図上訓練）	ハローボランティア・ネットワークみえ代表 山本康史氏	視聴覚室
12:00～13:00	60分	昼食・休憩		消防学校 食堂
13:00～15:00	120分	D I G（災害図上訓練）	ハローボランティア・ネットワークみえ代表 山本康史氏	視聴覚室
15:00～15:10	10分	閉講式		視聴覚室
15:10		終了		

▲ [このページの上に戻る](#)

目次

- [1. 平成17年\(1月～6月\)における火災概要\(概数\)](#)
- [2. 平成17年度 秋の叙勲](#)
- [3. 平成17年 赤坂御苑 秋の園遊会](#)
- [4. 総合防災訓練（千葉会場・焼津会場）](#)
- [5. 住宅用火災警報器の普及啓発に向けて、各地で婦人防火クラブ員研修会を開催](#)
6. 自主防災組織リーダー研修会（香川県・徳島県）